

学校教育目標	あかるくさわやか ひとみきらきら あさひっ子 「思いをもつ力」「やり抜く力」「関わる力」				
	今年度より、これまでの学校教育目標「あかるくさわやか ひとみきらきら あさひっ子」から、年度末から教職員で議論して導き出した、本校で重点的に育てたい資質・能力をクローズアップし、直接的に表現することで置き換えた。題目化して質的な共有が失っていた学校教育目標の更新により、教職員も児童も目標を共有して適宜振り返り、資質・能力の獲得状況を確認しながら学校教育を推進する。				
学校概要	創立 121 周年	学校長 益子 照正	副校長 岩元 カオリ	2 学期制	一般学級：22 個別支援学級：7
	児童生徒数： 757 人	主な関係校： 寺尾中学校、上寺尾小学校、東台小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	寺尾中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《 思いをもつ力 》 《 やり抜く力 》 《 関わる力 》	寺尾中学校 上寺尾小学校 東台小学校 旭小学校	人とのかかわりの中で、自分らしさを表現しながら、主体的に学び続ける子ども ○ブロック内各校の授業や行事等への参加を通して、児童に身に付けさせたい資質・能力についての共通理解を図り、ブロックで育てたい子ども像の実現に向かって実践化を図る。 ○4校の校長が着任1～2年目、かつ昨年度はほとんど交流を実現できなかったことを踏まえ、積極的な情報共有を図り、児童生徒の9年間を見通した教育活動を目指す。

中期取組目標	児童が自ら課題を発見し、自らの力で解決していくことを通して、予測不可能な未来を生き抜くための資質・能力を育みます。 ○児童の必要感を重視し、「こんなことを実現したい」という思いをもって主体的に取り組む姿勢を大切にします。 ○思いをもって始めたことに対して安心して取り組める機会を保障することを通して、責任をもって最後まで粘り強く取り組む姿勢を大切にします。 ○仲間と議論したり、折り合いをつけたりする機会を保障することを通して、相手意識をもって行動する力を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	①学校生活全般において児童の思いを認め、自らの必要感を重視したうえで自己決定による活動を尊重する。また、結果以上に過程を評価する指導観を確立する。②ICT機器の有効活用を図ることを含め、教師主導の授業スタイルからの脱却を図り、児童にとっての「主体的・対話的で深い学び」になるような授業力を身に付ける。
担当	研究推進委員会	
徳	豊かな心	①多様な考えを認め合い、「正解」ではなく「納得解」、「適切解」を導き出す指導を心がける。②学級では児童同士で関わる場面を設定し、授業場面では生活科や総合的な学習、特別活動を中心に「ひと」との出会いを学習過程に組み込み、他者から学ぶ場面を増やす。
担当	人権指導部	
体	健やかな体	①コロナ禍による体力低下の現状を踏まえ、体力テストの結果を活用しながら、縦割り活動等で児童が主体的かつ継続的に行える取組を計画・実施する。②コロナ禍での手洗い習慣の定着やマスク着用率に表れる健康維持意識を原動力に、特別活動等を活かして日常生活において持続可能な課題解決を実現できる活動を見出す。
担当	体育部	
公開	地域との協働	①コロナ禍で地域行事が中止になり、地域との関係性が希薄になっている現状を踏まえ、寺尾中学校との協働による学校運営協議会を開設して課題を共有し、地域と学校との双方向の理解を深める。②地域人材に対して学習への協力依頼を強化し、まちとの協働で児童を育成する。
担当	教務部	
いじめへの対応		①昨年度に見直した校内におけるいじめ認知・解決システムを活用し、児童支援専任教諭を核とした児童理解体制を強化する。②いじめの兆候についての感度を上げ、知り得た情報を共有して早期発見に努める。また、発生してしまった場合の保護者対応など、組織で入念に共通理解を図って迅速に対応を進める。
担当	児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①昨年度に組織再編を図った校務分掌を進める中での成果と課題を随時確認し、組織構造の改善を進める。②経験のある教職員による人材育成構造を確立し、全教職員が学び合ってキャリア形成を進められるような体制を確立する。
担当	主幹会	
児童指導		①児童支援専任教諭を中心とした児童理解を充実させ、全教職員で児童の状況を共有し、保護者連携を含めた個への支援を行う。②方法を統一する学校スタンダードの徹底ではなく、目指したい児童像を共有することでの指導への観の転換を図る。
担当	児童指導部	
特別支援教育		①校内における教職員研修を定期的に設定し、全児童の個性を大切にする共通理解のもと、児童のよさに着目して伸長を図る指導に取り組む。②配慮を要する児童については、保護者や関係機関との連携を図りながら支援を進める。また、配慮の有無にかかわらず、誰もが安心して学ぶことができるように努める。
担当	特別支援教育担当	
ESD		①生活科・総合的な学習の時間にとどまらず、地球環境に配慮した行動意識を高めるため、目の前のできることからスタートする共通理解のもと、持続可能な開発を目指す教育を進める。②17の開発目標を対象とする活動にとどまらず、持続可能を視点とした多様な学びを展開する。
担当	ESD担当	
学校情報発信		①保護者や地域の方々にとって、コロナ禍により学校教育の現状を捉えにくい状況打開のために、学校WEBページ、公式SNSを活用して積極的に教育活動や教育ビジョンを発信する。②一元的に情報を管理できるシステムの導入を進め、教職員の発信力強化を図り、広く情報を公開する。
担当	教務部	